



わっさむハロウィーン2016

10月29日（土）、和寒町では初のハロウィーンイベントとなった「わっさむハロウィーン2016」が交流施設ひだまり前で開催され、国道沿いに1,500個のカボチャが並べられました。

このイベントは町民有志で組織する「わっさむハロウィーンプロジェクト（白土真太郎会長）」が主催で、「特産品のカボチャを活かしたハロウィーンイベントがあれば」「子どもたちとハロウィーンを楽しみたい」という町民の意見を具現化したものです。

会場には、特設コーナーでハロウィーンメイクをした子どもたち約60名が集まり、個性的な仮装でファッションショーや仮装行列を楽しみました。

また、マルシェコーナーではカボチャグラタンなど軽食が販売され、ランタンづくりコーナーでは北海学園大学の学生たちがイベント運営に参加し、来場者と楽しみながらランタンを製作していました。



大盛況のメイクコーナー



国道沿いに1,500個のカボチャ



ランタンを作る学生たち



大通りを練り歩く仮装行列



白土会長も、町長も、議長も。みんな仮装しました



熱気球も登場



仮装記念撮影



同日におこなわれた、和寒町着地型観光推進協議会主催のわっさむハロウィーン2016ツアーには、札幌圏から26名が参加し、自ら製作したランタンにろうそくの火を灯してハロウィーンを楽しみました。

